

藤 保 第1307-7号
令和5年9月27日

関係機関 各位

大阪府藤井寺保健所長

大阪府藤井寺保健所管内における感染症情報（令和5年9月号）について（情報提供）

日頃から、当保健所業務に御協力いただき、お礼申し上げます。標記について、別添のとおりに情報提供します。

担当：地域保健課 感染症チーム
河本（こうもと）
TEL：072-955-4181
FAX：072-939-6479

感染症情報提供（8月新登録結核） 令和5年9月号

★結核と診断した医師は直ちに保健所に届出をお願いします★

診断名	肺結核
年齢	70代
性別	男性
居住地域	松原市
職業	無職
発見方法	他疾患入院中の有症状時診察
診断根拠	喀痰培養検査（+）、TB-PCR（+）
初診医療機関	一般医療機関
診断医療機関	専門医療機関
受診医療機関数	2
発見時の症状	発熱
発病～初診	28日
初診～診断	1ヶ月0日
診断までの経緯	令和4年5月～他疾患にて入院中であった。令和5年7月上旬より発熱を繰り返し、誤嚥性肺炎、真菌感染症を疑われ抗菌薬加療中、7月28日抗酸菌喀痰検査の結果が8月28日に塗抹（-）培養（+）TB-PCR（+）判明し、肺結核と診断され、専門医療機関に転院。転院時、抗酸菌喀痰検査塗抹（2+）判明した。
事例の特徴	他疾患で長期入院中に発熱し、誤嚥性肺炎を疑われていた。培養検査（+）判明後に行った3回連続検痰にて喀痰塗抹（2+）となった。

腸管出血性大腸菌感染症について

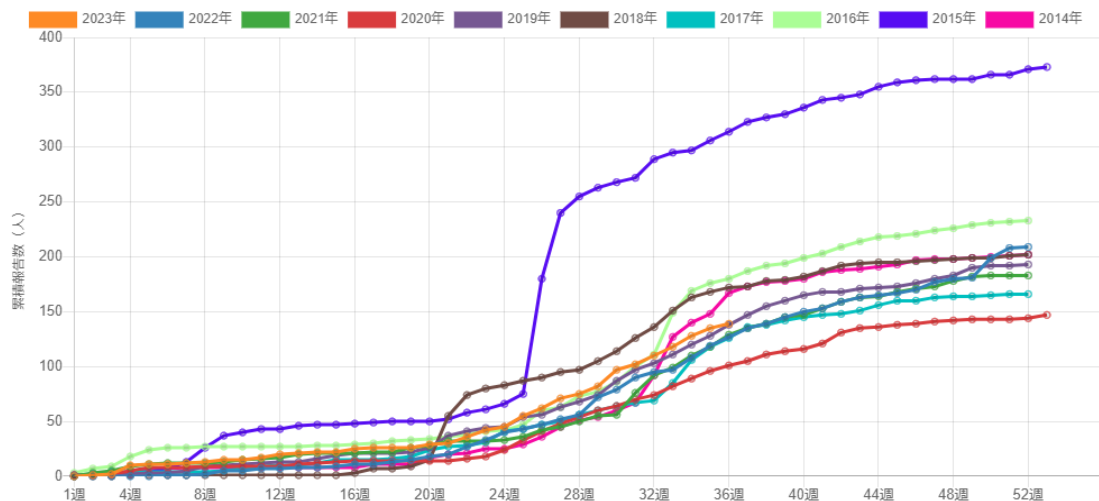


腸管出血性大腸菌(Enterohemorrhagic *Escherichia coli* ; EHEC)感染症の原因菌は、ベロ毒素 (Verotoxin=VT, 又は Shiga toxin =Stx と呼ばれている) を産生する大腸菌です。症状については無症状から致命的なものまで様々なものがあり、特に、腸管出血性大腸菌感染に引き続いて発症することがある溶血性尿毒症症候群(HUS)は、死亡あるいは腎機能や神経学的障害などの後遺症を残す可能性のある重篤な疾患です。

日本で分離されるEHECのO抗原 (菌体抗原) タイプは約60種類です。最も多いタイプはO157で分離株の50から60%を占め、次いでO26、更にO103、O111、O121があります。

(参考：国立感染症研究所ホームページ・大阪健康安全基盤研究所ホームページ)

大阪府内腸管出血性大腸菌感染症報告数



出典：大阪府感染症情報センターホームページ

藤井寺保健所管内 腸管出血性大腸菌感染症届出数

	患者	無症状病原体保有者	合計
2018年	2	2	4
2019年	4	2	6
2020年	6	3	9
2021年	1	0	1
2022年	8	3	11

2023年は9月20日現在2件の届出がありました。感染源は不明ですが、2022年及び2023年の届出患者10名（無症状除く）のうち、7名に「生センマイ」「生レバー」「生ユッケ」のいずれかの喫食がみられました。「生センマイ」は湯通ししていても、ひだが多く、中まで加熱が届かない可能性があり注意が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症患者または無症状病原体保有者と診断した場合には、直ちに感染症法第12条第1項の規定による届出を保健所にさせていただくと同時に、患者又は家族に保健所から直接連絡があることを伝えていただきますようお願いします。

届出基準は下記リンクをご確認ください。

<https://www.iph.pref.osaka.jp/infection/list.html>

届出の際にはベロ毒素の確認をお願いします。